

評価結果総括表 (2013年暫定版)

北海道下川町

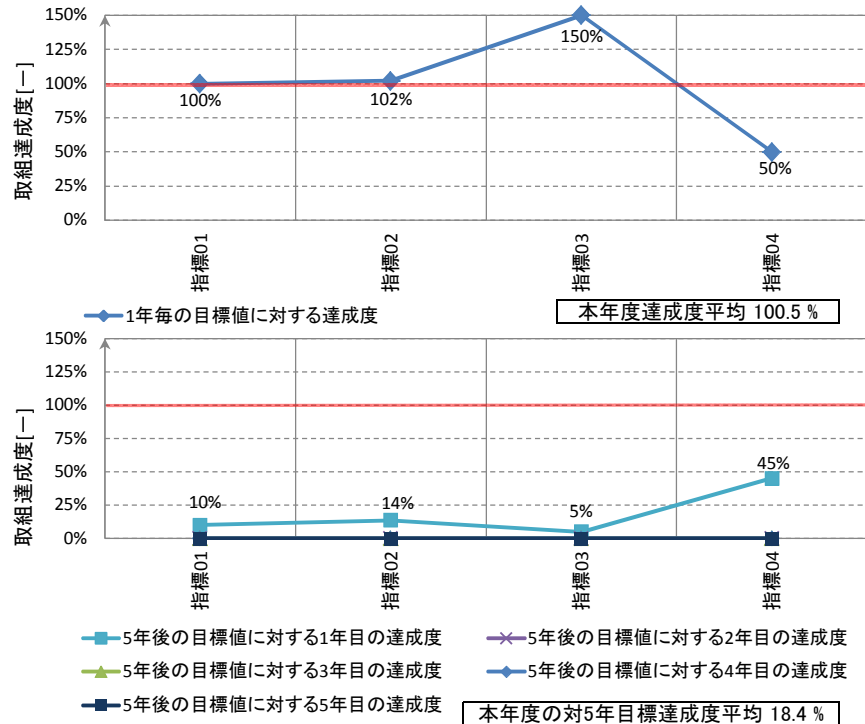
人口: 3,592人
世帯数: 1,807世帯(平成24年3月末現在)
就業人口: 1,932人(平成21年)
町内GDP: 215億円(平成21年度)
面積: 644.2km²(うち森林面積569.8km²)

平成24年度の 取組の都市総括

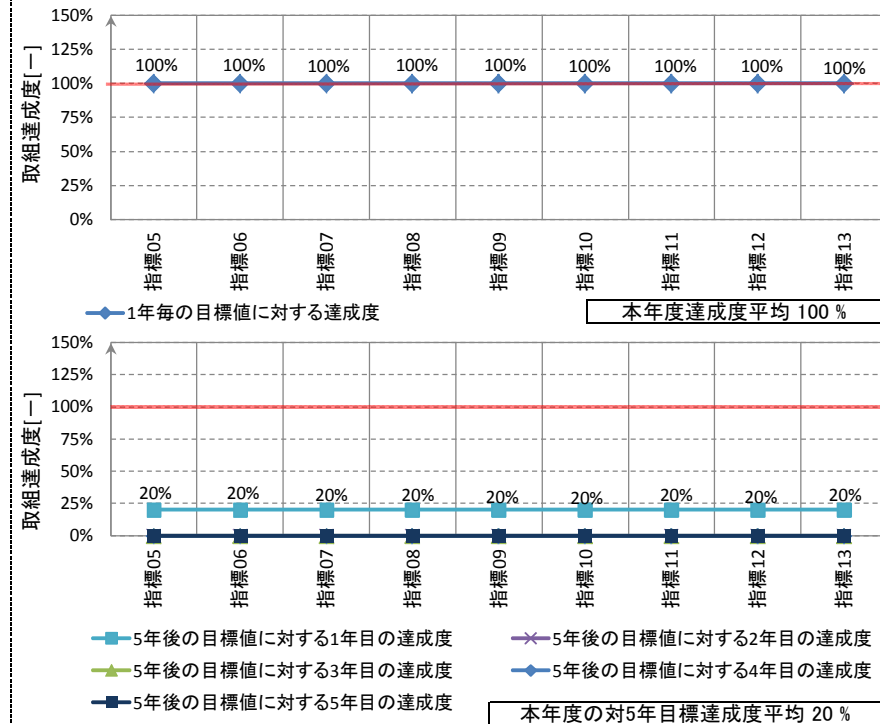
環境未来都市先導的モデル事業補助金等を活用し、林業システム革新として森林資源量把握のシステム化やエネルギー自給型超高齢化対応集住化エリアの開発、IT活用高齢者見守りシステムの導入など、経済、環境、社会の各側面に対し、効果的かつモデル性の高い事業展開を図った。また、長期的な取組が必要となる健康づくりプロジェクトや高齢者雇用の拡大、研究開発・教育研修・インキュベーション機能の構築等については、町民ニーズの把握と方向性の検討を中心に実施し、次年度以降の具現化に向けた基盤を構築した。

フロー評価結果(取組進捗評価(自主評価))

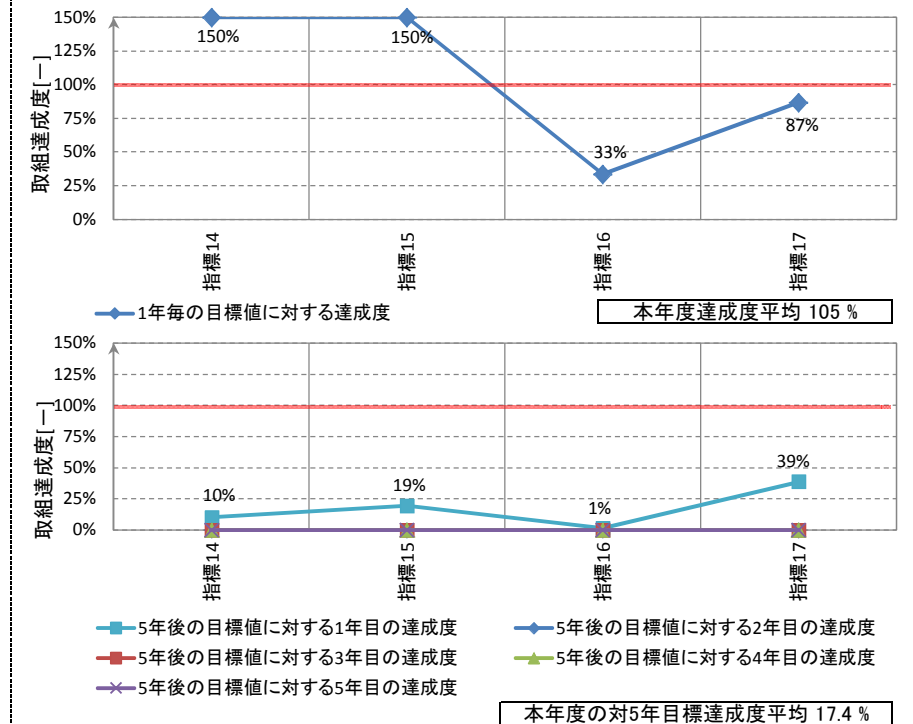
Q1. 環境的価値



Q2. 社会的価値

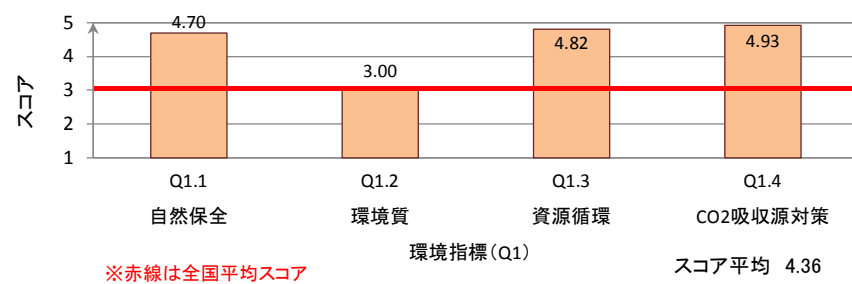


Q3. 経済的価値

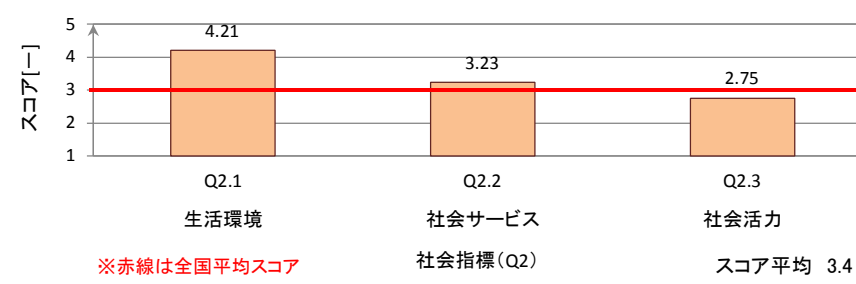


ストック評価結果(CASBEE都市評価(統計データ)) ※統計データは2010年のもの。都市の現状値を評価

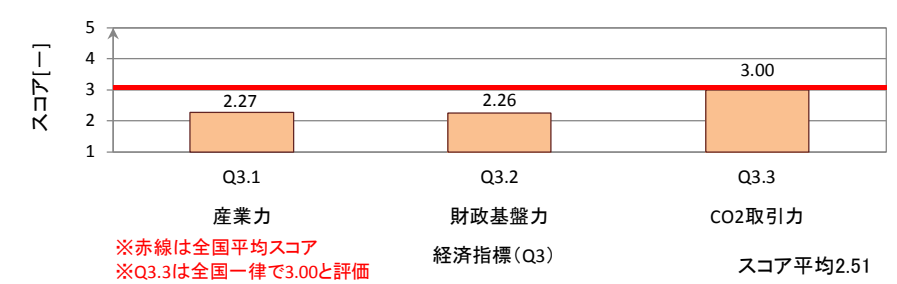
Q1. 環境的価値



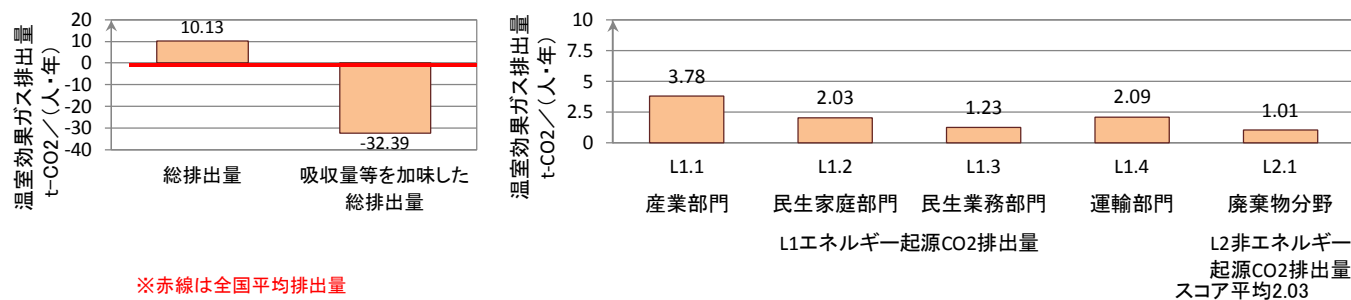
Q2. 社会的価値



Q3. 経済的価値



L. 環境負荷(CO2排出量)



推進ボードからのコメント

概ね順調な進捗状況にあると考えられる。林業従事者数および木材生産効率の向上に関してはまだ改善の余地がある。今後の改善に期待する。

推進委員会からのコメント

- 集住化モデルについて、在宅・介護サービス等と併用を考えるとより先進的な取組となるのではないか。
- 地域熱供給をこの町の規模で行うことは周囲への波及効果が大きく評価は高い。出来る限りバイオマス発電と組み合わせ、廃熱の利用を遂行して欲しい。
- 超高齢化とエネルギー問題を一つのエリアで行う良い事例であり、継続して頑張ってもらいたい。
- 地域での産業創造が重要。上流は頑張っているの下流(消費地との関係)も頑張ってもらいたい。
- 都会とのつながり・都会からの人の呼び込み(観光面)も強化してもらいたい。
- CASBEE評価のQ3.1産業力・Q3.2財政基盤力が他と比較して弱い。長期的な視点を持って取組んで欲しい。

評価指標リスト

指標番号	価値分類	評価指標
指標01	環境	エネルギー自給率(%)
指標02	環境	木質原料供給量(t)
指標03	環境	エネルギー作物ヤナギ生産量(t)
指標04	環境	二酸化炭素排出量(t-CO2)
指標05	社会	下川町まちづくりアンケート 「高齢者が住みやすい支援体制」に対する満足+やや満足の割合(%)
指標06	社会	下川町まちづくりアンケート 「公共交通」に対する満足+やや満足の割合(%)
指標07	社会	下川町まちづくりアンケート 「福祉サービス」に対する満足+やや満足の割合(%)
指標08	社会	下川町まちづくりアンケート 「高齢者の就労・社会参加」に対する満足+やや満足の割合(%)
指標09	社会	後期高齢者医療一人当たり給付額(万円)
指標10	社会	国保一人あたりの療養諸費(医療費)(万円)
指標11	社会	地域ファンドの創設
指標12	社会	研究開発・教育研修・インキュベーション機能
指標13	社会	豊かさ指標の開発
指標14	経済	素材供給量(m3)
指標15	経済	林業・林産業生産額(万円)
指標16	経済	林業・林産業従事者数(人)
指標17	経済	木材生産効率(m3/人・日)

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日： 平成25年8月7日

作成者(部署/氏名)： 下川町環境未来都市推進課 仲埜公平

承認者(部署/氏名)： 下川町環境未来都市推進課長 長岡哲郎

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	下川町環境未来都市計画	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	下川町環境未来都市計画	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。	下川町環境未来都市計画	✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	下川町環境未来都市計画	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(会議運営等、各都市で具体的な内容を明記)が検討されており、かつ実行されている。	下川町環境未来都市計画	✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	東京都港区との木材の利用協定や北海道内4町によるバイオマス吸収量利用に関する連携などを行っている、もしくは今後連携を予定している。	下川町環境未来都市計画	✓	
	成功事例を他へ展開するために具体的な仕組みを構築している、もしくは今後構築を予定している。	下川町環境未来都市計画	✓	
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。	下川町環境未来都市計画	✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。	下川町環境未来都市計画	✓	
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。	下川町環境未来都市計画	✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。	下川町文書編集保存規程	✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。	下川町環境未来都市計画	✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。			未記載・未実施
	定期的な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。			自主評価は未実施
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。			自主評価は未実施
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。			全体評価は未実施
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている			全体評価は未実施
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。			全体評価は未実施
⑧その他	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。			全体評価は未実施

是正処置への対応の詳細
特になし。

代表者による確認
本町の環境未来都市に係る取組は、下川町環境未来都市推進条例に基づき、環境未来都市推進本部会議(不定期)の開催により組織内の部局横断的な情報交換や合意形成等を図るとともに、環境未来都市推進町民会議や環境未来都市しもかわ推進会議等により町議会以外においても町民との密な情報交換と合意形成を図るよう配慮しながらすすめている。 個々の事業の成果については決算監査及び行政評価等により評価を実施しているところであり、環境未来都市としての効果の評価検証は今後、町民による豊かさの実感を示す豊かさ指標の開発に併せて実施していく。

推進ボードによる確認
概ね順調な進捗状況にあると考えられる。項目⑤から⑦が未実施になっているが、いち早くに町役場や住民が評価できる仕組みを構築し、先進事例を示してほしい。

推進委員会による確認
特段ご意見なし。

(参考)取組進捗状況一覧

環境未来都市計画での記載内容											1年目(2012年度)の達成状況						
都市名	取組番号	取組	指標番号	評価指標	価値分類	評価方法	基準値	1年目の目標値	2年目の目標値	3年目の目標値	4年目の目標値	5年目の目標値	1年目の目標値	1年目の実績値	単年度の達成度	5年目標に対する達成度	進捗状況説明
北海道下川町	取組01	林業システム革新(森林資源量解析システムの開発)	指標14	素材供給量(m3)	経済	定量評価	13,704	15,000	20,000	30,000	40,000	40,000	15,000	16395	208%	10%	施業の効率化や低コスト化に繋げるため、ICT技術を活用し、航空レーザー測量及びデジタル航空写真撮影により得られた測量データ解析と素材生産管理システムなど森林資源量解析システムを構築。
			指標15	林業・林産業生産額(万円)	経済	定量評価	240,864	246,000	258,000	279,000	300,000	300,000	250,000	252323	223%	19%	
			指標16	林業・林産業従事者数(人)	経済	定量評価	270	273	290	320	350	350	273	271	33%	1%	
			指標17	木材生産効率(m3/人・日)	経済	定量評価	—	6.7	7.0	10.0	15.0	15	6.7	5.8	87%	39%	
	取組02	林業システム革新(林内路網の高密度化)	指標14	素材供給量(m3)	経済	定量評価	13,704	15,000	20,000	30,000	40,000	40,000	15,000	16395	208%	10%	民有林の施業の効率化や低コスト化に繋げるため、森林内の路網密度を向上させる林道整備を実施。 4路線 4,640m、路網密度41.4m/ha
			指標15	林業・林産業生産額(万円)	経済	定量評価	240,864	246,000	258,000	279,000	300,000	300,000	250,000	252323	223%	19%	
			指標16	林業・林産業従事者数(人)	経済	定量評価	270	273	290	320	350	350	273	271	33%	1%	
	取組03	林業システム革新(欧州型の高性能林業機械の導入改良)	指標14	素材供給量(m3)	経済	定量評価	13,704	15,000	20,000	30,000	40,000	40,000	15,000	16395	208%	10%	地域関係者からなる「森林作業システム専門委員会」において、本町の実情に即した効率的かつ低コストな作業システムの構築に向けて調査検討を実施。
			指標15	林業・林産業生産額(万円)	経済	定量評価	240,864	246,000	258,000	279,000	300,000	300,000	250,000	252323	223%	19%	
			指標16	林業・林産業従事者数(人)	経済	定量評価	270	273	290	320	350	350	273	271	33%	1%	
			指標17	木材生産効率(m3/人・日)	経済	定量評価	—	6.7	7.0	10.0	15.0	15	6.7	5.8	87%	39%	
	取組04	林業システム革新(森林作業員の能力向上)	指標14	素材供給量(m3)	経済	定量評価	13,704	15,000	20,000	30,000	40,000	40,000	15,000	16395	208%	10%	フォレストセンターの構築に向け、欧州フォレスターを招聘した作業システム検討やチェンソー技術講習等の人材育成事業を実施。
			指標15	林業・林産業生産額(万円)	経済	定量評価	240,864	246,000	258,000	279,000	300,000	300,000	250,000	252323	223%	19%	
			指標16	林業・林産業従事者数(人)	経済	定量評価	270	273	290	320	350	350	273	271	33%	1%	
			指標17	木材生産効率(m3/人・日)	経済	定量評価	—	6.7	7.0	10.0	15.0	15	6.7	5.8	87%	39%	
	取組05	林業システム革新(国有林との共同施業団地の拡大)	指標14	素材供給量(m3)	経済	定量評価	13,704	15,000	20,000	30,000	40,000	40,000	15,000	16395	208%	10%	施業の集約化、効率的な路網整備など国有林と町有林が一体となって効率的な森林経営に繋げるため、森林共同施業団地を設定。 平成22年度 浜和・斑溪・二の橋地区 4,745ha (国有林 3,747ha、町有林 998ha) 平成24年度 珊瑠・一の橋地区 6,514ha (国有林 4,729ha、町有林 1,785ha)
			指標15	林業・林産業生産額(万円)	経済	定量評価	240,864	246,000	258,000	279,000	300,000	300,000	250,000	252323	223%	19%	
			指標16	林業・林産業従事者数(人)	経済	定量評価	270	273	290	320	350	350	273	271	33%	1%	
			指標17	木材生産効率(m3/人・日)	経済	定量評価	—	6.7	7.0	10.0	15.0	15	6.7	5.8	87%	39%	
	取組06	林業システム革新(造林苗木生産システム革新)	指標14	素材供給量(m3)	経済	定量評価	13,704	15,000	20,000	30,000	40,000	40,000	15,000	16395	208%	10%	造林コストの低減に向け、欧州で事業化されているコンテナ苗の栽培・事業化にむけた研究機関、企業等との調査研究を実施。
指標15			林業・林産業生産額(万円)	経済	定量評価	240,864	246,000	258,000	279,000	300,000	300,000	250,000	252323	223%	19%		
指標16			林業・林産業従事者数(人)	経済	定量評価	270	273	290	320	350	350	273	271	33%	1%		
指標17			木材生産効率(m3/人・日)	経済	定量評価	—	6.7	7.0	10.0	15.0	15	6.7	5.8	87%	39%		
取組07	林産システム革新	指標15	林業・林産業生産額(万円)	経済	定量評価	240,864	246,000	258,000	279,000	300,000	300,000	250,000	252323	223%	19%	地域材を安定的かつ効率的に流通させる仕組みを構築するため、林業振興審議会において、山側と加工流通側の情報の共有化について課題を検証。	
		指標16	林業・林産業従事者数(人)	経済	定量評価	270	273	290	320	350	350	273	271	33%	1%		
取組08	森林文化の創造	指標14	素材供給量(m3)	経済	定量評価	13,704	15,000	20,000	30,000	40,000	40,000	15,000	16395	208%	10%	町内に森林文化を根付かせ、広く国内外へ発信。 ・「木のデザイン」公募展2013 応募約260点 ・第2回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム開催 ・第1回国際森林フォーラム開催 ・木製案内看板制作、パンフ・映像・ノベルティ等制作 ・「美染が丘」体験フィールド創設 19回のべ約590名 ・チェーンソーアート大会 選手10名、参加約700名 ・森林環境教育 25回のべ約1,400人	
		指標15	林業・林産業生産額(万円)	経済	定量評価	240,864	246,000	258,000	279,000	300,000	300,000	250,000	252323	223%	19%		
		指標16	林業・林産業従事者数(人)	経済	定量評価	270	273	290	320	350	350	273	271	33%	1%		
		指標17	木材生産効率(m3/人・日)	経済	定量評価	—	6.7	7.0	10.0	15.0	15	6.7	5.8	87%	39%		
取組09	小規模分散型再生可能エネルギー供給システムの整備	指標01	エネルギー自給率(%)	環境	定量評価	0.0	7.1	12	40	55	70	7.1	7.1	100%	10%	町内における森林バイオマスを中心としたエネルギー自給の全体システムを検討。具体的には、エネルギー消費状況調査、最適なエネルギーシステムや施設等の検討、モデルエリアを設定した自給可能性調査、実行計画(マスタープラン)を策定。小学校周辺地域熱供給システムの基本計画を策定。	
		指標02	木質原料供給量(t)	環境	定量評価	3,000	4,100	7,700	8,100	11,000	11,252	3,000	4121	102%	14%		
取組10	エネルギー作物栽培の事業化	指標03	エネルギー作物ヤナギ生産量(t)	環境	定量評価	0.0	17	211	405	600	600	17	30	176%	5%	食料供給に影響しないバイオマス資源として播栽してきた早生樹ヤナギを管理し、効率的な育成の実証を実施。	
取組11	「炭素本位制」の構築	指標04	二酸化炭素排出量(t-CO2)	環境	定量評価	27,900	24,300	24,167	24,034	23,900	23,900	24,300	26100	50%	45%	※H24年度最新値はまだ不明であるため、「1年目の実績値」はH23年度の値である。基準値はH20年度27,900tとしている。 H23年度では、例年に比べ厳冬であったこと、原発の長期停止によりCO2排出量が増加している。平成22年度から実施してきたエコ・アクション・ポイント(用紙にスタンプを押す方式)を発展させ、カードを電子化するともに行政情報知覚系にポイント情報やCO2削減量情報を表示する「しもかわエコポイント」を実証実施。 期間:平成25年1月～3月、参加者数:191人、CO2削減量:約3.8t	
取組12	集住化モデルの構築	指標01	エネルギー自給率(%)	環境	定量評価	0.0	7.1	12	40	55	70	7.1	7.1	100%	10%	超高齢化に対応するエネルギー自給型の集住再生モデルエリアとして、一の橋バイオビレッジに集住化エリアを建設。 ・定住型集合住宅 2LDK 12戸、3LDK 2戸 ・単身者向け住宅 1LDK 8戸 ・エネルギー施設:木質バイオマスボイラー550kW2基、太陽光発電15kW ・物置、厩舎、外構等 一の橋に地域おこし協力隊3名を配置し、地域住民との協働による地域おこし活動を展開。具体的には、買い物や除雪等の生活サポート、廃棄物、コミュニティビジネス創出としてのクマ加工や地域食堂等を実施。	
		指標05	下川町まちづくりアンケート「高齢者が住みやすい支援体制」に対する満足+やや満足(%)	社会	進捗率評価 ※2年目からは定量評価	35.5	集住化エリア開発設計、高齢者ソフト支援	35	-	-	40	集住化エリア開発設計、高齢者ソフト支援	集住化エリア開発設計、高齢者ソフト支援	100%	20%		
取組13	生活サポート地域公共交通システム	指標06	下川町まちづくりアンケート「公共交通」に対する満足+やや満足(%)	社会	進捗率評価 ※2年目からは定量評価	55	町営バスの再編、交通空白地帯への対応	55	-	-	80	町営バスの再編、交通空白地帯への対応	町営バスの再編、交通空白地帯への対応	100%	20%	下川町生活サポート地域公共交通再編計画に基づき、平成24年10月から町営バス路線の見直しと予約型集合タクシーを導入。 予約型集合タクシー利用実績 運行回数 1,877回 利用人数 2,565名 乗合率 1.4	
取組14	IT活用地域見守りシステムの構築	指標07	下川町まちづくりアンケート「福祉サービス」に対する満足+やや満足(%)	社会	進捗率評価 ※2年目からは定量評価	42.2	IP版緊急通報未端30基設置	42	-	-	60	IP版緊急通報未端30基設置	IP版緊急通報未端30基設置	100%	20%	全世界に整備されている光回線網を活用し、高齢者の孤立死や行方不明など高齢者の安全・安心の確保のため、必要な世帯に対し、人感センサーを備えた緊急通報装置を整備。 平成23年度から計125台を整備済。	
取組15	有償ボランティア福祉サービス制度の構築	指標05	下川町まちづくりアンケート「高齢者が住みやすい支援体制」に対する満足+やや満足(%)	社会	進捗率評価 ※2年目からは定量評価	35.5	課題整理、ニーズ把握	35	-	-	60	課題整理、ニーズ把握	課題整理、ニーズ把握	100%	20%	町内ボランティア団体や高齢者等からニーズ把握を実施。	
取組16	高齢者事業団等による高齢者等雇用の拡大	指標08	下川町まちづくりアンケート「高齢者の就労・社会参加」に対する満足+やや満足(%)	社会	進捗率評価 ※2年目からは定量評価	39.4	木工芸品、野菜の販売事業スキーム検討	39	-	-	60	木工芸品、野菜の販売事業スキーム検討	木工芸品、野菜の販売事業スキーム検討	100%	20%	木工芸センターを中心とした木工芸品制作販売実証を実施。	
取組17	健康づくりプロジェクト	指標09	後期高齢者医療一人当たり給付額(万円)	社会	定量評価	0	73	72	71	70	70	73	72.9	100%	20%	食を通じた健康づくりを考えるセミナー「20歳からの生活習慣病予防」と題して住民対象に講演会を開催。生活習慣病予防として町の健康実態の理解を進め、食に関する講演とともに試食を実施。 参加:約50名	
		指標10	国保一人あたりの療養費(医療費)(万円)	社会	定量評価	0	42	41.6	41.4	41.2	41	42	41.4	100%	20%		
取組18	地域ファンドの創設	指標11	地域ファンドの創設	社会	進捗率評価	-	情報の収集、市場公募債・民間ファンドの検討	市場公募債の発行、民間ファンドの創設	民間ファンドの運営	-	-	情報の収集、市場公募債・民間ファンドの検討	情報の収集、市場公募債・民間ファンドの検討	100%	20%	ファンドスキームの検討を実施。出口の創出策として「みんなで考えみんなで創る環境未来都市しもかわ推進町民事業助成要綱」を創設。	
取組19	研究開発・教育研修・インキュベーション機能の構築	指標12	研究開発・教育研修・インキュベーション機能	社会	進捗率評価	-	組織化・運営体制の検討	教育カリキュラムの細部検討センター機能構築に向けた設計	森林総合産業・エネルギー自給に関する研究・分析、産学連携活動、産学官連携マニフェストネットワークの構築	-	-	組織化・運営体制の検討	組織化・運営体制の検討	100%	20%	地域資源の調査研究や資源を活用した技術・商品の開発、次世代育成から産業創出にまでつなげる機関を構築するため、学生向け教育カリキュラムの実証、センター機能構築に向けた課題整理と方向性を検討。	
取組20	豊かさ指標の開発	指標13	豊かさ指標の開発	社会	進捗率評価	-	指標の検討、大枠設計	豊かさ指標の細部検討測定	-	-	-	指標の検討、大枠設計	指標の検討、大枠設計	100%	20%	詳細設計として、「自然資本(森林・水・大気・生物多様性など)を定量的に価値評価するとともに、継続的に評価管理(指標化・資金化)する制度構築を行うため、評価方法や管理運用に向けた課題整理と方向性を検討。また、優位性を生かした適切な経済振興を図るため、町内事業者等からのヒアリング等により地域産業連携表を整備。	